

- (1) 基調講演「医療福祉連携に関する最近の行政の動き」
古元重和(厚生労働省老健局老人保健課課長)
- (2) 基調講演「病院管理者からみた医療福祉連携士制度の意義」
藤本 俊一郎(医療法人社団重仁まるがめ医療センター副理事長)
- (3) 「急性期病院における医療福祉連携士の重要性」
鈴島 仁(医療法人創起会くまもと森都総合病院院長)
- (4) 「臨床医にできること」
山口圭三(公立八女総合病院診療部長/医療福祉連携士8期生)
- (5) 「地域からの信頼を受け、求められる地域医療連携の看護師の役割とは」
樋口 由美子(聖マリア病院患者・家族サポートセンター地域連携推進室看護師長/医療福祉連携士10期生)
- (6) 「福祉職の立場から～院内外の多職種の役割を活す連携～」
岡本健志(KKR高松病院地域医療連携室事務課長/医療福祉連携士4期生)
- (7) 「医療福祉連携講習会について」
大久保 一郎(横浜市衛生研究所所長/医療福祉連携講習会実行委員)
7. 全ての職種間のパートナーシップの構築を目指して
座長：大西祥男(加古川中央市民病院院長)
藤也寸志(国立病院機構九州がんセンター院長)
- (1) 「パーパスが紡ぐパートナーシップ～コーチングを活用した組織作り～」
江草典政(島根大学医学部附属病院リハビリテーション部療法士長)
- (2) 「地方慢性期病院におけるコーチング導入経験」
高橋邦康(帯広西病院院長)
- (3) 「全ての職種間のパートナーシップを構築することが発展的な「医師の働き方改革」「地域医療連携」に繋がっていく」
佐藤文彦(Basical Health株式会社代表取締役)
- (4) 「リーダー育成のための院内コーチングの実践」
杉本圭相(近畿大学医学部小児科学教室主任教授)
- (5) 「会話と対話で紡ぐ組織能力」
小池 美智子(横須賀共済病院副院長兼看護部長)
8. 口腔から全身の健康支援とQOLの改善を目指す医療連携 ～さまざまな合併症の予防とQOLの向上を目指した口腔ケア最前線～
座長：青木久恵(福岡看護大学基礎・基礎看護部門基礎看護分野教授)
馬場 チエミ(百年橋リハビリテーション病院看護部長)
- (1) 「エビデンスに基づいた口腔ケア実践のための基礎知識～口腔と全身の関係、オーラルフレイル～」
晴佐久悟(福岡看護大学基礎・基礎看護部門教授)
- (2) 「さまざまな全身疾患を有する患者の合併症予防と回復に向けた口腔ケア最前線」
森田浩光(福岡歯科大学成長発達歯学講座障害者歯科学分野教授/総合歯科学講座訪問歯科センター教授)
- (3) 「歯科の併設のない病院における歯科衛生士介入の取り組み」
久保山 裕子(福岡県歯科衛生士会副会長/日本歯科衛生士会副会長)
- (4) 「さまざまな患者への口腔ケアと歯科専門スタッフとの連携～歯科併設のない病院における口腔委員会の運用と口腔ケアの取り組み～」
石田朱美(福岡ハートネット病院看護部師長代理)
9. 新興感染症流行期の医療連携
座長：山下博徳(国立病院機構小倉医療センター院長)
石丸敏之(福岡赤十字病院感染症内科部長)
- (1) 「新興再興感染症に備えた地域の感染対策」
忽那賢志(大阪大学大学院医学系研究科感染制御学教授)
- (2) 「コロナ禍に学ぶ、これからの医療連携」
野田 英一郎(国立病院機構九州医療センター広域災害・救命救急センターセンター長)
- (3) 「新興感染症の発生に慌てないために」
古宮伸洋(日本赤十字社和歌山医療センター感染症内科部長)
- (4) 「保健所と医療機関との連携のあり方～新型コロナウイルス感染症を通して～」
有門 美穂子(北九州市保健福祉局保健所医務業務課長)
10. 「治し、支える医療」を極める！－患者中心の在宅療養支援－
座長：田中二郎(飯塚病院名誉院長)
武藤正樹(社会福祉法人日本医療伝道会衣笠病院グループ理事/よこすか地域包括ケア推進センター長)
- (1) 「みんなで挑む医療・介護連携の大変革～地域の実情を踏まえた圏域ごとの地域完結型医療・介護提供体制構築に向けた取組み～(仮)」
小栗和美(飯塚病院地域包括ケア推進本部兼飯塚医師会地域包括ケア推進センターマネージャー)
- (2) 「コミュニティホスピタルが支える在宅療養支援」
本田宜久(医療法人博愛会額田病院院長)
- (3) 「2次救急病院が取り組む在宅医療」
松田守弘(医療法人川崎病院内科統括部長兼総合診療科部長)
- (4) 「患者・家族が求めている在宅療養－急性期病院の立場から－(仮)」
加藤智子(聖隷浜松病院看護部家族支援専門看護師看護課長)